



2015 紀の国 わがやま大会
第15回全国障害者スポーツ大会 躍動と歓喜、そして絆

審判副委員長

上土谷 政高

戦評用紙

種 別	知的障害の部 (男子)	会 場	海南市総合体育館
-----	-------------	-----	----------

平成 27 年 10 月 26 日 月 曜日	第 3 日目
------------------------	--------

A

コート

第

8

試合

☐

回戦

☐

準決勝

☐

交流試合

☒

3位決定戦

☐

決勝戦

◎試合結果

勝利チーム		14		—	25		}		}		}				
和歌山県	2	25		—	23										
		25		—	18										
都道府県・市名										都道府県・市名					
												1		北九州市	

【審判員】

主 審： 清水 学

副 審： 成瀬 秀樹

記録員： 喜多 智英

A・S： 小阪 博之 才川 恵里

【戦 評】

記載者： 田村 泰造

1セット、硬さが見られる和歌山県はスパイクミスが続き、3-9とリードされる。しかし、③MB寺岡、⑩WS箕島のAクイックが決まり、中盤で12-12の同点に追いついた。中盤、北九州市⑨S生野のサーブが冴え、4連続ポイントで北九州市が21-13と大きくリードした。その後も、和歌山県⑩WS箕島のスパイクで追いつけたが、北九州市が勢いで勝ち切った。

2セット、後がない和歌山県は⑨MB松原(侑)、②S松原(正)のブロックで均衡状態から抜け出し16-12とリードするも、北九州市⑨S生野のサーブで追いつかれデュースに入る。和歌山県①WS池下が攻守に踏ん張り、セットカウントをタイとした。

3セット、北九州市は④WS一番ヶ瀬のスパイクでリードするが、和歌山県は⑨MB松原(侑)のブロックで逆転すると、①WS池下の3連続サーブポイントで抜け出し、その後も⑨MB松原(侑)のスパイク、ブロックで着々と加点し、北九州市の必死の追い上げも届かず、逆転勝利した。和歌山県は、今まで積み重ねてきた成果が花開き、3位入賞を飾った。